



岩手県ホームページでも
ご覧いただけます ▼



美しい 県土づくりNEWS

2026年
3月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第245号
令和8年3月9日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 北上 国道107号大石地区開通！
- 4 県南 大石地区本復旧工事関係者へ感謝状を贈呈！
- 5 花巻 県道北上和賀線小田中工区が完成！
- 7 県南 県道水沢米里線館山地区土砂災害対策事業
- 9 河川 流域治水シンポジウム2025開催！
- 11 流域 流域下水道各浄化センターの水質管理
- 14 一関 県営アパートリフレッシュ工事を実施！
- 15 建住 不来方高等学校校舎大規模改造工事完成！
- 16 盛岡 除雪訓練上級・初級編開催！
- 18 道環 道路インフラメンテナンスの取組を実施！
- 22 盛岡 盛岡工高土木科対象 出前授業を開催！
- 24 砂防 砂防出前講座を開催中！
- 26 建住 住まいの温熱環境測定体験学習プログラム
- 27 企画 鳥インフルエンザ防疫措置への対応
- 28 都計 高田松原津波復興祈念公園 追悼の催し
- 30 東日本大震災津波から15年
岩手県県土整備部 これまでの取組状況
- 44 企画 令和8年度岩手県職員採用試験受験申込開始！

一般国道107号大石地区道路災害復旧事業 開通しました！！



国道107号大石地区で発生した地すべり災害からの災害復旧事業として
工事を進めてきた大石トンネル等が、令和7年11月30日に開通しました

一般国道107号大石地区道路災害復旧事業 大石トンネル令和7年11月30日15時に開通しました！

県南広域振興局土木部 北上土木センター

国道107号大石地区で発生した地すべり災害からの災害復旧事業として工事を進めてきた大石トンネル等が、**令和7年11月30日15時に開通**しました。

開通に先立ち、同日10時30分から開通式典を開催し、約100人の出席者が1.8kmのバイパスルートの開通を祝いました。

主催者挨拶では、八重樫副知事（達増知事の代読）が「本日開通を迎えることができたのは、地域住民の皆様の御理解とともに、国土交通省や林野庁をはじめ、関係の皆様のご格別なる御尽力・御支援のたまものであり、深く感謝申し上げます。」と述べました。

また、内記西和賀町長からは「本町が有している資源の活性化や、町のにぎわい創造に大きく結びついていくことに期待している」との言葉をいただきました。

< 開 通 式 典 の 様 子 >



主催者挨拶 達増知事
(代読：八重樫副知事)



来賓祝辞 木戸口参議院議員



来賓祝辞 横沢参議院議員



来賓祝辞 城内県議会議長
(代読：佐々木副議長)



来賓祝辞 矢崎国土交通省
水管理・国土保全局防災課長
(代読：岩井防災政策調整官)



期待の言葉
内記西和賀町長



テープカット・くす玉開披



開通パレードの号令



湯田子供太鼓の皆様による
「明神太鼓」の演奏

< 事業概要 >



< 本復旧ルートの整備効果 >

防災機能の強化

地すべり災害箇所を回避するとともに、更に山側に分布する大規模地すべり地形を回避し当該区間の防災機能が強化します。

走行時間の短縮

ショートカットや急カーブ・急勾配区間の解消により、現道と比較して走行時間が約2分短縮します。（仮橋ルートからは約5分短縮）

冬期間の安全性向上

区間の大半がトンネルとなることから、冬期間の走行性・安全性が大幅に向上します。

また、波及効果として、地域間連携の促進、地域経済の活性化、観光振興などが期待されます。

【走行時間の短縮】



【冬期間の安全性向上】



一般国道107号大石地区道路災害復旧事業 本復旧工事関係者へ感謝状贈呈式を開催しました！

県南広域振興局土木部・北上土木センター

岩手県県南広域振興局では、災害時における早期の交通確保や被害拡大防止等の応急対策業務等において、地域の安全・安心を確保するなど、特に顕著な功績があった建設企業等に対し感謝の意を表するため、表彰を行っています。

今回の本復旧工事において、迅速に工事を進め、**予定より約1年前倒し**となる令和7年11月の供用開始を実現させ、地域の安全・安心の確保に多大な貢献をしていただいた12者を表彰し、2月12日に感謝状贈呈式を行いました。

- ＜感謝状贈呈式＞
- 1 日 時 令和8年2月12日 午後2時から3時まで
 - 2 開催場所 奥州地区合同庁舎分庁舎3階大会議室
 - 3 被表彰者

株式会社安藤・間 東北支店	若築建設株式会社 東北支店	東野建設工業株式会社
株式会社小田島組	株式会社小原建設	北日本通信株式会社
株式会社佐藤組	株式会社田中建設	株式会社中央コーポレーション
南部電気工事株式会社	公益財団法人岩手県土木技術振興協会	日本工営株式会社



式典の詳細は以下をご覧ください！

<https://www.pref.iwate.jp/kennan/doboku/1013759/1094873.html>

- 国道107号大石地区道路災害復旧事業の概要動画をYouTubeで公開中です！
 - ・ 令和8年3月時点で**1万回再生**を突破しました！
 - ・ 本復旧工事の着手から開通までの**3年8ヶ月の歩み**をご覧ください！
<https://www.youtube.com/watch?v=X-wDjOVjTm8>
- **令和8年3月20日に、国道107号大石地区仮橋お別れイベント**を開催します！
 - ・ 国内最大級の仮橋を歩くことが出来る最後の機会です。是非、お申込みください！
https://www.pref.iwate.jp/kennan/kita_doboku/1043155/index.html

一般県道北上和賀線小田中工区が完成しました！ ～地域間交流の促進や観光振興に寄与することが期待されます～

県南広域振興局土木部 花巻土木センター

北上市和賀町煤孫～山口地内において、岩手県が平成25年度から整備を進めてきた「一般県道北上和賀線小田中工区」が令和8年3月に完成しました。

当該路線は、地域の方々の通勤・通学や観光拠点へのアクセス道路としての役割を担うほか、秋田自動車道や一般国道107号と並行していることから、代替路線としての機能も有していますが、当該区間は、幅員が狭く、歩道が設置されていないことから、車両の円滑な交通や歩行者の安全な通行が課題となっていました。

本事業により、車道の拡幅と線形改良、歩道の整備を行ったことから、地域間交流の促進や観光振興に寄与することが期待されます。



【事業概要】 計画延長：1,860m	計画幅員：6.0 (11.5) m 片側歩道
事業期間：平成25年度～令和7年度	総事業費：約16億円
整備効果：大型車のすれ違い困難の解消、歩行者の安全性や快適性の向上など	



【整備前】大型車のはみ出し



【整備前】歩行者（カート）の通行が危険



完成区間の状況 令和7年10月29日 ドローン撮影

工事完成報告会を開催！

工事の完成に先立ち、**令和7年12月13日***には、地元の上煤孫公民館において、地権者の皆さんや沿線にお住まいの方々を対象とした**工事完成報告会を開催**しました。

※ 工事完成報告会の開催をご案内した時点では、令和7年12月中の完成を見込んでいましたが、降雪が早かったことや気温が低い日が続いたことから、工事の完成は令和8年3月となりました。

当日は、花巻土木センター所長から、貴重な土地を提供いただいた地権者の皆さんや、工事期間中の度重なる交通規制等の中、事業にご協力いただいた沿線住民の皆さんに感謝を伝えました。

その後、道路整備課長から工事経過報告を行い、工事の受注者である株式会社小田島組と株式会社佐藤組（いずれも北上市）から、参加者の皆さんに記念品が配布されました。



主催者挨拶



工事経過報告

主要地方道水沢米里線館山地区土砂災害対策道路事業 ブロック3・4仮設工完了！切土工事に着手します！

県南広域振興局土木部

主要地方道水沢米里線館山地区において、平成29年にモルタル吹付部分が崩落し一般車両を巻き込む被害があったことから、周辺の危険度を調査し事業範囲全体を7つのブロックに分けて土砂災害対策道路事業を実施しています。令和6年度までにブロック6・7が完成、令和7年度はブロック3・4の仮設工工事として支障木伐採や仮設防護柵の設置、道路拡幅を実施しました。**令和8年度からはブロック3・4の大規模な切土工事**が始まります。

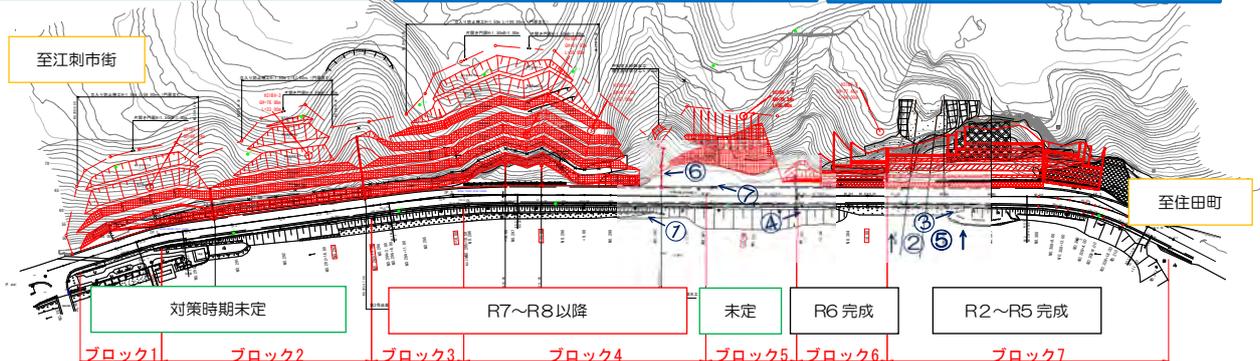
【事業箇所図】

【事業概要】



事業名称：土砂災害対策道路事業（国庫補助事業）
事業延長：420.0m ※令和5年度までは防災安全交付金
事業期間：平成29年～令和8年度以降
対策工法：ブロック1～5 吹付法砕工、植生基材吹付工
 ブロック6～7 PCWパネル、
 グラウンドアンカー工
工事費：ブロック6・7 約18億円（実績）
 ブロック3・4 約10億円（予定）

※迂回路 ー-ー-ー 工事施工中は全面通行止め



【事業計画平面図】

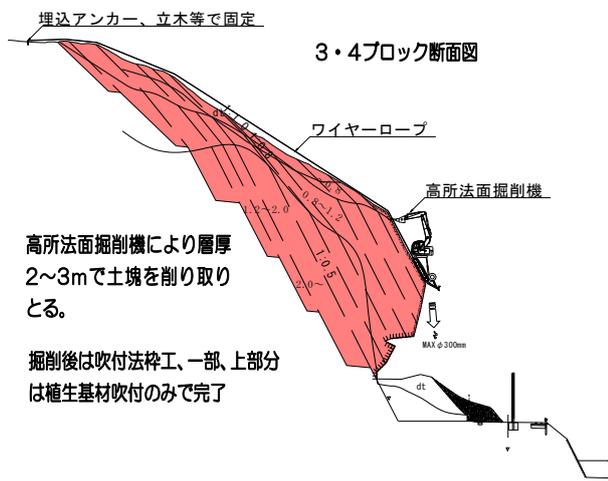
【ブロック6・7工事 令和2年度～令和6年度】

ブロック6・7は不安定な部分を掘削せずに斜面下方からも施工可能なPCW工法(グラウンドアンカー併用)を採用しました。令和5年度にブロック7、令和6年度にブロック6が完成し、平成29年の崩落箇所を含む最も優先度の高い区間の対策が完了し安全な通行が確保されました。



【ブロック3・4工事 令和7年度～令和8年度以降】

令和7年度は切土工事に向けて支障木伐採、車道部の拡幅(既設歩道撤去)及び仮設防護柵の設置を行いました。令和8年度より切土工事に着手します。切土部分のほとんどが高所法面掘削(RCM工法)を予定しています。



【事業実施にあたり】

- 地域の生活道路や緊急輸送路であるとともに、近隣に観光施設や工業団地があるため、通行規制による影響や渋滞が懸念されましたが、適切な周知や迂回路案内に努め、通行者の御理解と御協力いただくことにより安全な工事を進めることができます。
- 法面上部の背後地側には、城址、史跡公園などの歴史的施設が隣接しており、関係機関と調整を図りながら進めています。
- 約20,000m³の破碎岩が発生するため、可能な限り他工事への流用を調整していきます。

希望郷いわて 流域治水シンポジウム2025を開催しました！

～平成28年台風第10号災害からの岩泉町の復旧・復興とみんなで取り組む流域治水～

河川課

開催概要

平成28年台風第10号災害における岩泉町の河川改修事業が令和7年10月に完了したことを踏まえ、流域のあらゆる関係者の協働による**流域治水の取組を深化**させ、企業や住民の方々に**水災害を自分事として捉えてもらう**ため、令和7年12月14日に岩泉町にて、**本県で初となる流域治水をテーマにしたシンポジウムを開催**しました。

会場の様子



NHKニュース「おはよう日本」に出演中の気象予報士の**近藤奈央さん**を講師に迎え、気象予報士と防災士の資格を持つIBC岩手放送アナウンサーの**神山浩樹さん**の司会で、取組紹介やパネルディスカッションにより、**みんなで流域治水の自分事化**について考えました。

パネリストには、岩泉町防災士連絡協議会会長を務め地域の防災リーダーとして活躍する**鈴木悠太さん**、地元小学生に防災教室を開いている岩手県立岩泉高等学校2年の**佐々木駿斗さん・竹花悠真さん**、国土交通省国土地理院で災害伝承に取り組んでいる元岩手県県土整備部長の**中平善伸さん**に参加いただき、「流域治水とは？」から始まり、「自分事化に向けて、これから取り組みたいこと」などを議論しました。

基調講演



台風・大雨から大切な人の命を守る
～正しい気象情報のミカタ～ (気象予報士 近藤奈央さん)

パネルディスカッション



激甚化・頻発化する水災害をジブンゴト化しよう
～みんなで取り組む流域治水～

取組紹介



岩手県の流域治水の取組
(岩手県県土整備部技術参事兼
河川課総括課長 佐々木雅章)



つながりで育む地域防災力と防災リーダー
(岩泉町防災士連絡協議会会長
鈴木悠太さん)

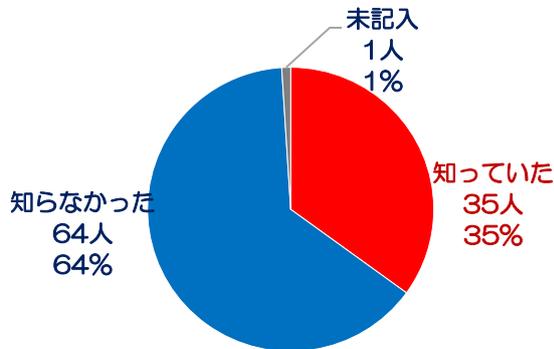


命を守れ！
～次世代でつくる小学生への防災教室の実践～
(岩手県立岩泉高等学校2年
佐々木駿斗さん・竹花悠真さん)

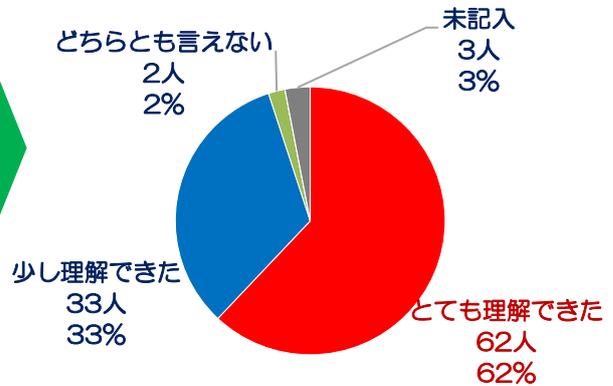
アンケート結果

シンポジウム開催前は、参加者における「流域治水」の認知度は3割程度でしたが、シンポジウムの開催により、9割以上の参加者に「流域治水」について理解をしてもらうことができました。

シンポジウム開催前の
流域治水の認知度について

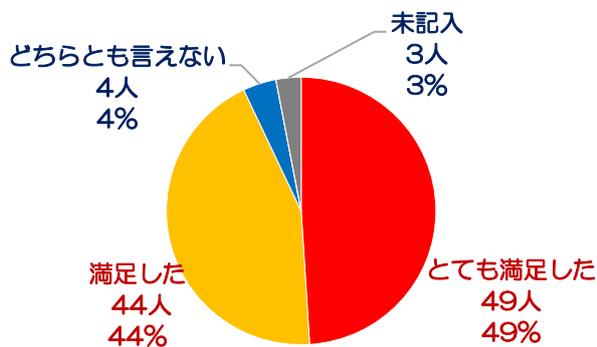


シンポジウム開催後の
流域治水の理解度について



また、シンポジウム参加者の9割以上の方々が「とても満足した」又は「満足した」と回答しました。

シンポジウムにおける
参加者の満足度



クローストーク（出演者全員）

YouTube 岩手県公式動画チャンネル配信

当日参加できなかった方々にも流域治水への理解を深め、水災害を自分事に捉えてもらうため、本シンポジウムの様子を、YouTube岩手県公式動画チャンネルにてアーカイブ配信しています。

また、シンポジウムで上映した「平成28年台風第10号災害からの復旧・復興のあゆみ いわいずみ9年のキセキ～未来へつなぐ桜とともに～」も配信されていますので、ぜひご覧ください。



希望郷いわて
流域治水シンポジウム2025
アーカイブ配信



平成28年台風第10号災害
からの復旧・復興のあゆみ
いわいずみ9年のキセキ
～未来へつなぐ桜とともに～

流域下水道各浄化センターの水質管理

北上川上流流域下水道事務所

家庭や工場等から排出される下水は、下水道管を通して下水処理場（浄化センター）に運ばれ、きれいな水に処理された後、河川に放流しています。

岩手県は、10市町を対象に2つの流域下水道事業を実施しています。各浄化センターでは常に水の状態をチェックし、下水処理が正しく進んでいるかを確認しています。今回は、トラブルを未然に防ぎ、安全な水環境を維持する重要なプロセスである水質試験及び監視について紹介します。

流域下水道について

「流域下水道」は、複数の市町村が整備する「流域関連公共下水道」の区域から排除される下水を市町村の行政区域を越えて排除・処理するための施設で、幹線管渠、中継ポンプ場、下水処理場で構成され、都道府県が設置・管理しています。岩手県の流域下水道の状況は表1のとおりです。

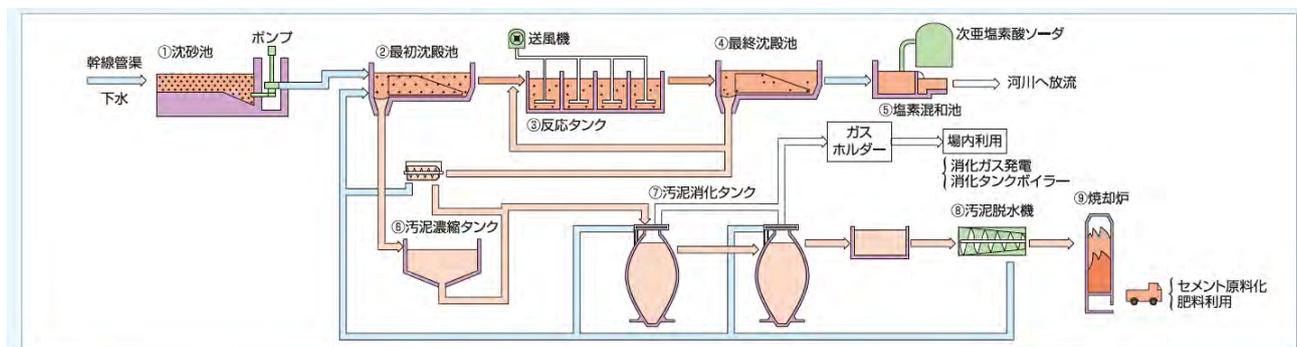
表1 令和6年度末現況（公益財団法人岩手県下水道公社HPから抜粋）

項目	北上川上流流域下水道			磐井川流域下水道
	都南処理区	花北処理区	胆江処理区	一関処理区
関連市町	盛岡市・滝沢市 雫石町・矢巾町	花巻市・北上市	奥州市・金ケ崎町	一関市・平泉町
処理面積	7,444 ha	4,850 ha	2,533 ha	1,411 ha
処理人口	318,249 人	119,914 人	61,607 人	36,275 人
流入水量（日平均）	128,743 m ³	36,807 m ³	15,565 m ³	9,528 m ³
管渠延長	83,300 m	42,690 m	20,670 m	8,920 m
処理方式	標準活性汚泥法			
汚水排除方式	分流式（一部合流式）	分流式		

浄化センターのしくみ

浄化センターに流入した下水は、施設内の各工程で、砂やごみの除去、微生物の働きによる汚れの分解、汚泥の沈殿・除去が行われ、最後に消毒殺菌されたのち河川に放流します。

これら水処理のほかに発生した汚泥を処理する工程（濃縮、消化、脱水及び焼却等）もあります。



- ①沈砂池
各家庭、事業場などから排水された下水はここで大きなごみや土砂を取り除きポンプで最初沈殿池へ送ります。
- ②二次沈殿池
下水をゆっくり流して、沈みやすい細かいごみなどを取り除きます。
- ③反応タンク
下水に活性汚泥を加え空気を吹き込みかき混ぜます。活性汚泥中の微生物の働きによって汚れの主成分である有機物は分解され、下水はきれいになります。
- ④最終沈殿池
下水をゆっくり流して活性汚泥を沈殿させ、きれいな上澄み水と分離します。沈殿した活性汚泥は再び反応タンクに送り、余った汚泥は汚泥処理施設に送ります。
- ⑤塩素混和池
きれいになった水は消毒殺菌して河川に放流します。
- ⑥汚泥濃縮タンク
重力を利用して汚泥を沈め、時間をかけて濃縮します。
- ⑦汚泥消化タンク
汚泥を密閉した消化タンク内で加温・攪拌することで汚泥中の有機物が分解して、消化ガス（主にメタン）を発生させて、病原性の細菌やウイルスまで死滅、あるいは減少させます。汚泥の安定化、減量化をおこないます。
- ⑧汚泥脱水機
濃縮された汚泥から水分を取り除きケーキ状（脱水ケーキ）にします。
- ⑨焼却炉
脱水ケーキを焼却してさらに減量します。焼却灰は建設副産物として有効利用しています。

【水質試験】

表2は、流域下水道事業で行う試験を3つに分類したものです。このように水処理や汚泥処理を健全に保つため、様々な試験を行っています。今回ご紹介する「水質試験」は①の管理のための試験にあたります。

表2 水質試験の種類、内容等

項目	① 管理のための試験	② 法定試験	③ 監視のための試験
主な内容	水処理の水質試験 汚泥処理の水質試験	放流水の精密試験 排ガス分析等	接続点の水質試験 流入水の精密試験
目的	水処理、汚泥処理が適切に行われているか、日常的に確認します	下水道法、各種環境法令の基準値を順守していることを法令に従い確認します	流域関連公共下水道の区域から排除される下水が下水道法の基準を順守していることを定期的に確認します

【試験水の採取】



試験水を採取し、各種試験の原材料とします。(写真は流入水を採取する様子です。)

【COD試験】



主に反応タンク内の微生物が酸素を使用している量を化学的に測定します。

【微生物の確認】



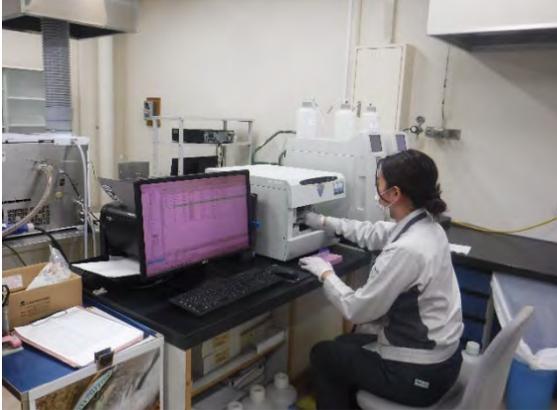
主に反応タンクや最終沈殿池における微生物の様子を観察し、下水道処理場で活躍又は阻害する微生物の量や動きに問題がないか確認します。



下水道処理場で働く微生物

汚れを取り込んだり、体にくっけたりして、下水をきれいにしてくれます。ツリガネムシ、アスピディスカ、ワムシなど、たくさんの微生物が水の浄化に働きます。

【イオンクロマトグラフィーによる測定】



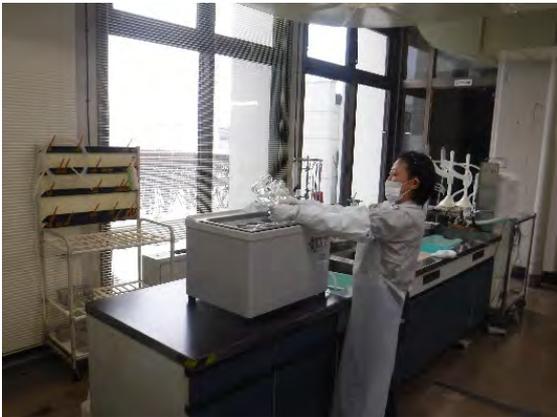
各工程における全窒素や塩化物イオンを測定し、各施設がうまく機能しているか、微生物が動かなくなる要因が無いか確認します。

【データ記録、管理】



様々なデータを記録及び管理し、水処理が上手くいかない際の知見として今後に活かします。

【試験器具の洗浄】



試験で使用した試験器具を洗浄、乾燥し、翌日の試験に備えます。

日々の水質試験や監視を実施し、各浄化センターに入ってきた汚水が微生物の力できれいになったことを確認しています。

毎年、9月上旬に実施される下水道の日イベント「下水道探検ツアー」の一部企画にて、浄化センターで活躍する微生物の観察会も実施しているので、皆様是非お越しください！

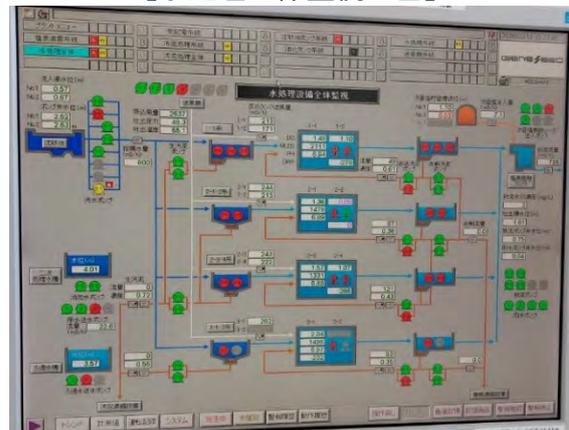
【監視】

各浄化センターの中央監視室では、365日24時間体制で、汚水流入量、水位、反応槽への酸素供給量、施設の運転状況等を監視、制御しています。

【中央監視室の様子】



【水処理全体監視画面】



県営アパートのリフレッシュ工事を 実施しています！



県南広域振興局土木部 一関土木センター

県営アパートの目的

県営住宅は、所得が一定の基準以下の住宅に困っている方に低廉な家賃で賃貸するために整備した住宅で、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。

事業の概要

一関土木センターでは、昭和62～63年に建設された全3棟の「県営銅谷アパート」について改修工事を行っており、1号棟が令和6年度、2号棟が令和7年度に完成しました。現在3号棟についても令和8年度の完成を目指して工事を進めております。

各棟築40年近くになる建築物であり、壁を壊したりしなければ修繕が難しい電気設備や、配管等の機械設備の更新を行うとともに、内装・断熱改修、段差解消や手すりの設置等による居住性の向上、また、外壁・屋根改修を行うことで建物の長寿命化を図ります。

リフレッシュ工事の内容

- ◆ 住戸内改修
 - 仕上げをすべて撤去し、内装・建具、断熱改修と設備配管配線を更新
 - 畳を全てフローリングへ変更
 - 浴室にユニットバスを設置
 - 窓の内側へ樹脂サッシ、外部へ網戸の設置
 - 床の段差解消及び浴室・便所・玄関への手すりを設置
 - ガス給湯器の設置及び台所、洗面、浴室への給湯配管を新設
 - 備え付けの照明器具のLED化
- ◆ 階段室改修
 - 壁・天井の塗装
 - 物置戸、玄関扉の塗装改修
- ◆ 外壁・屋根改修
 - 外壁のひび割れ、浮き等の補修・塗替え
 - 屋根の塗替え及び屋上防水改修



Before ↑



After →

※工事前は銅谷AP3号棟、工事後は銅谷AP1号棟の写真です

不来方高等学校校舎大規模改造工事が完成しました！

建築住宅課



■ 工事の内容

旧不来方高等学校の既存校舎において、令和5年度から令和7年度にかけて、大規模改造工事を進めてきました。

建築工事では、校舎の屋上防水や外壁クラック補修、内装更新、外構整備など長寿命化改修工事を実施しました。

また、電気設備工事・機械設備工事では、消防設備や空調機器等の更新を行い、安全性と快適性の向上を図っています。

[既存校舎 改修]

- 特別教室棟 3,488㎡
- 屋内体育館 2,976㎡
- 普通教室棟 4,017㎡
- 管理棟 1,565㎡
- 芸術教室棟 1,838㎡
- ほか 渡り廊下

[仮設校舎新築・改修・一部解体]

- 本設棟 1,786㎡
- 仮設棟 1,792㎡



■ 工事の内容

既存校舎は、「特別教室棟」「屋内体育館棟」「普通教室棟」「管理棟」「芸術棟」の大きく5つの棟で構成されています。

本工事では、これら既存校舎を利用しながら工事を進めるため、仮設校舎を2棟新築。引越しを繰り返しながら、段階的に改修工事を実施しました。

また、体育館などで県産木材を活用し、地域資源の利用促進に努めました。

現在は、校名が「南昌みらい高等学校」となり、新たな学びの場がスタートしています。



工事スケジュール

年度	R5	R6	R7
仮設校舎	新築	改修	解体
特別教室棟	改修	改修	改修
屋内体育館	改修	改修	改修
普通教室棟	改修	改修	改修
管理棟	改修	改修	改修
芸術棟	改修	改修	改修
外構工事			



初の試み！除雪訓練 上級・初級編 開催！

盛岡広域振興局土木部

岩手県盛岡広域振興局土木部では、持続可能な除雪体制を確保するため、除雪機械オペレーターの育成を目的とした「除雪訓練」を実施しました。

本年度も岩手県建設業協会盛岡支部と合同で開催し、除雪業務受注者から希望者を募って参加者を選定しました。

訓練は上級編（積雪の多い県道の冬期通行止め区間で行うロータリ訓練）と初級編（駐車場でいうグレーダの基本訓練）の2部構成で、合計19名が参加し（上級編 7名、初級編 12名）、講師の熟練オペレーターから走行・操作の助言を受けながら実地訓練を行いました。

これまでの2年間は積雪不足で初級編が中止になっていましたが、今年度は上級編を2月6日、初級編を13日に開催し、積雪量・天候にも恵まれ、両日とも成功裏に終わることができました。

1 上級編の開催

- (1) 開催日時 令和8年2月6日 午後1時30分から午後4時30分
- (2) 開催場所 一般県道国見温泉線（冬期通行止中）（雫石町橋場字荒沢）
- (3) 訓練内容
 - ① 除雪機械の運転時における基本的留意事項の説明
 - ② 除雪機械（ロータリ）を使用した実走・操作訓練
 講師と訓練者の2名が乗車し、約700m間を往復するもの
- (4) 参加者
 - 訓練者 3社から7名（受注者 30～50歳台）
 - 講師 1名（受注者の熟練オペレータ）



▲ 開会式



▲ 講師からの説明



▲ 訓練の様子



▲ 訓練の様子

2 初級編の開催

- (1) 開催日時 令和8年2月13日 午後1時30分から午後4時
- (2) 開催場所 岩手県雫石除雪ステーション（雫石町七ツ森）
- (3) 訓練内容 ① 除雪機械の運転時における基本的留意事項の説明
② 除雪機械（ロータリ）を使用した実走・操作訓練（駐車場内での実走訓練）
- (4) 参加者 訓練者（県の受注者）5社から12名（10～60歳台）
講師（県の受注者）2名（受注者の熟練オペレータ）



開会式



訓練の様子



訓練の様子



訓練の様子

講師の思い・受講者の声（一例）

- [講師]・ 除雪機械は操作手順を間違えただけで破損することから大切に扱って欲しい。
・ 安全に作業する気配りの気持ちが作業の仕上がりにつながる。
- [受講者]・ 普段グレーダで作業を行っているが、ロータリ操作は今回が初めてで、装置を水平に動かすのが難しかった。どんな機械でも動かせるように操作を慣れていきたい。
・ 道路の起伏に合わせて操作するのが難しかった。操作できるオペレーターが増えていけば、交代で作業ができ、体の負担や疲れ具合も減ると思う。

3 今後の取組

今年度の除雪訓練は、除雪業務の受注者・作業従事者の声を踏まえて、初級編と上級編の2部構成で開催し、多くのオペレーターに参加いただき、参加者からは好評の声をいただきました。

来年度以降も、除雪業務の受注者等の要望を踏まえながら、盛岡管内の市町や岩手県建設業協会盛岡支部と共同で管内除雪の総合力の底上げと除雪体制の一体感の醸成に取り組んでいきたいと考えています。

道路インフラメンテナンスに関する取組を実施しました!!

～ 道路インフラメンテナンスの理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を推進～
道路環境課

岩手県が管理する橋梁（約2,700橋）のうち、建設後50年以上経過する橋梁の割合は現在約4割ですが、20年後には約8割と急激に上昇する見込みであり、老朽化対策が重要な課題です。

そのため、県ではインフラメンテナンスに関する更なる理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を目的に、令和元年度から「高校との協働による橋梁点検」を実施しており、令和4年度からは高校生を対象とした「道路インフラメンテナンス工事現場見学会」や「道路インフラメンテナンス勉強会」を開催しています。

今年度も、土木系の学科を有する4校と各取組を実施しましたので、紹介します。

高校との協働による橋梁点検の実施状況

年度	対象高校	実施年月日		
		現地点検	健全性診断	報告会
R7	①盛岡工業高校 土木科3年生(5人)	R7.9.11	R7.11.28	R7.12.12
	②黒沢尻工業高校 土木科3年生(5人)	R7.11.10	R7.12.8	R8.1.22
	③一関工業高校 土木科3年生(3人)	R7.11.17	R8.1.19	R8.2.9
	④花巻農業高校 環境科学科3年生(9人)	R7.10.7	R7.11.6	R7.12.9

■ 高校生との協働による橋梁点検

- 点検から記録までのインフラメンテナンスサイクルを、現地点検・健全性診断・報告会を通じて実習形式で学習
- 点検調書に自身の名前が残り、点検結果の発表も行うことで責任感を育む

道路インフラメンテナンス工事現場見学会の実施状況

年度	対象高校	実施年月日
R7	盛岡工業高校 土木科(1年生:35人)	令和7年8月27日
	黒沢尻工業高校 土木科(1年生:13人)	令和7年10月17日
	一関工業高校 土木科(1年生:18人)	令和7年9月10日
	花巻農業高校 環境科学科(1年生:19人)	令和7年9月25日

■ 道路インフラメンテナンス工事現場見学会

- 実際の補修工事現場で施工の見学や補修技術を体験し、インフラメンテナンスに関する興味を高め、将来の担い手の確保・育成を図る
- 1年生の段階からインフラメンテナンスの重要性に触れることで、土木系への進学・就職を前向きに検討するきっかけとする

道路インフラメンテナンス勉強会の実施状況

年度	対象高校	実施年月日
R7	盛岡工業高校 土木科(3年生:25人)	令和7年12月16日
	黒沢尻工業高校 土木科(2年生:23人)	令和7年10月28日
	一関工業高校 土木科(1年生:13人)	令和7年9月22日
	花巻農業高校 環境科学科(2年生:5人)	令和7年9月12日

■ 道路インフラメンテナンス勉強会

- クイズや写真資料を用いた“座学形式”により、道路インフラメンテナンスの必要性や重要性について深く学習
- 見学会や点検活動と組み合わせることで、知識学習と実体験が連動し、より一層理解を深める

高校生との協働による橋梁点検

高校生との協働による橋梁点検では、県の老朽化対策の取組等を学んだ後、県や建設コンサルタントの指導を受けながら、各高校2～3橋（全9橋）の「**現地点検**」を行いました。

現地点検に参加した生徒達は、ハンマーによる打音検査やクラックスケールを用いたひび割れ計測等により、橋梁の劣化状況等を熱心に点検していました。また、最新の点検技術を体験していただくため、**ドローン等の新技術**を活用した点検も実施し、生徒たちは最新の点検技術を興味深く学んでいる様子でした。

点検後、岩手県道路橋定期点検要領に基づく橋梁の「**健全性診断**」を行い、各高校から県に対し、点検成果を報告いただく「**報告会**」を開催しました。

▼現地点検



盛岡工業高校

▼健全性診断



盛岡工業高校

▼報告会



盛岡工業高校



黒沢尻工業高校



黒沢尻工業高校



黒沢尻工業高校



一関工業高校



一関工業高校



一関工業高校



花巻農業高校



花巻農業高校



花巻農業高校

道路インフラメンテナンス工事現場見学会

見学会では、序盤に**老朽化対策が本格化された経緯や取組**などのインフラメンテナンスについての説明を行い、その後、実際の施設を見ながら**老朽化が進んだ施設の補修の進め方**について学んでいただきました。

また、生徒の皆さんには、**無収縮モルタルによる断面修復模擬体験**や、**橋梁点検車への乗車体験**、**自動追尾型測量機械の操作体験**をしてもらったり、さらには**タブレットを用いて3Dスキャナー計測し、完成イメージを観覧**してもらったりするなど、**新技術を体験することで、インフラメンテナンス全体に興味を持っていただいた様子**でした。



無収縮モルタルによる断面修復模擬体験
盛岡工業高校（令和7年8月27日）



橋梁点検車への乗車体験
黒沢尻工業高校（令和7年10月17日）

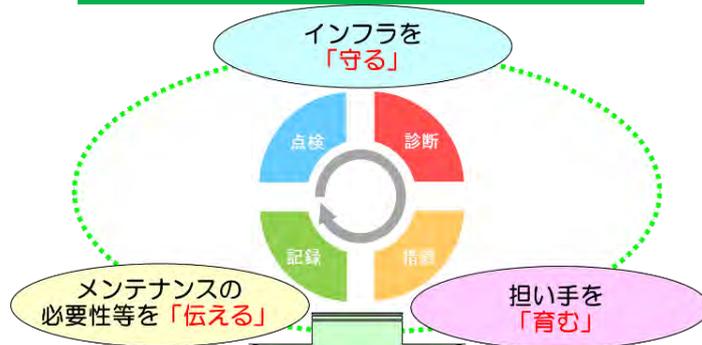


3Dスキャナー計測し、完成イメージを観覧
一関工業高校（令和7年9月10日）



自動追尾型測量機械の操作体験
花巻農業高校（令和7年9月25日）

インフラメンテナンスサイクル



持続可能なインフラメンテナンスの実現

道路インフラメンテナンス勉強会

また、勉強会では、クイズを交えながら、老朽化対策が本格化された経緯や取組、老朽化が進んだ橋梁の補修事例についても勉強しました。

参加した生徒からは「Ⅲ判定と診断される橋梁は何割くらいあるの?」「補修工事にはどのくらいお金がかかるの?」「工事の期間はどのくらい?」などのメンテナンスに関わる質問をいただき、インフラメンテナンスの理解を深めるとともに、将来の土木技術者の担い手として、興味を持っている様子でした。

道路インフラメンテナンス説明資料（表紙）



盛岡工業高校（令和7年12月16日）



黒沢尻工業高校（令和7年10月28日）



一関工業高校（令和7年9月22日）



花巻農業高校（令和7年9月12日）

盛岡工業高校土木科1年生を対象とした「出前授業」を開催しました！

盛岡広域振興局土木部

盛岡広域振興局土木部では、今年度から新たな取組として、令和8年1月14日から2月18日までの期間、盛岡工業高校土木科1年生35名を対象に、「出前授業」を実施しました。

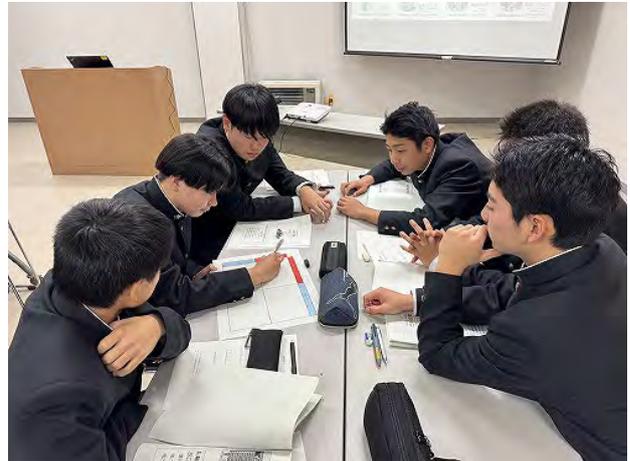
本取組については、管内の建設業の担い手確保を目的としており、一般社団法人岩手県建設業協会盛岡支部、一般社団法人岩手県測量設計業協会と協働して、建設業の仕事内容や県内で働く魅力等について全5回の授業を通して伝えたものです。

第1回 盛岡土木部からの出前授業 令和8年1月14日

- 土木構造物や工種、工事が完成するまでの業務の流れや職種について説明
- 県内・県外で働くメリット、デメリットについて、グループワークを通じた学習を実施



出前授業



グループワーク

第2～4回 協力企業からの出前授業 令和8年1月21日～2月4日

- 管内の建設会社6社、建設コンサルタント2社及び県土整備部で働く方が講師となり、携わった仕事内容を説明
- 生徒からの様々な質問に回答しながら、仕事のやりがいや管内企業で働く魅力などを紹介



生徒からの質問

- ・仕事のやりがい
- ・一番大変だった仕事
- ・入社前と入社後で感じた会社のギャップ
- ・仕事で失敗したこと
- ・高校卒業してすぐ就職するメリットとデメリット
- ・悪天候などで、工事ができないときは何をしているのか
- ・内業とは何をしているのか
- ・高校在学中に取っていたほうがいい資格を教えてください
- ・自社の強みを教えてください
- ・就職前にやっていたよかったこと、もしくはやってあげればよかったと思ったこと
- ・地元企業に就職した理由と、良かったと思ったこと
- ・給料はいくらか

第5回 まとめ学習 令和8年2月18日

- ・ 第1～4回までの出前授業を通して学習した内容について、各自で整理
- ・ さらに、グループごとに意見交換を行い、結果を発表



まとめ学習



グループワーク

就職に関する生徒の希望

出前授業の最後に実施したアンケートの結果、以下のとおりとなりました。

働きたい場所 県内（31%）＜ 県外（69%）…関東圏50%、仙台市50%

	1 位	2 位	3 位
働きたい会社	建設会社（69%）	公務員（22%）	コンサルタント（9%）
やりたい職種	施工管理技士（25%）	測量士（16%）	重機オペ（16%）
重視すること	給料（50%）	時間（休暇等）（22%）	やりがい（13%）

それぞれが選ばれた理由として、

- 県 外 → 県内よりも企業数が多いため選択肢が多い、給料が高い
- 建設会社 → 高校で取得できる資格を活かせるから、体を動かして働きたい（職種で測量士、施工管理技士が人気の理由も同様）
- 公務員 → 給料、福利厚生などの面で安定しているから。
- 給 料 → 給料が高いと働くためのモチベーションが高くなる。
- 時 間 → 休日など、自分の時間が多いとやりたいことがたくさんできる。
- やりがい → やりがいがあることで、楽しく仕事をして長く続けられる。

出前授業を終えて、生徒が何を重視し就職を意識しているのか、様々な意見を聞いた上で、管内建設企業の魅力発信・向上を進めていくことが必要だと感じました。今後も、建設業団体、建設関連団体と連携し、魅力発信等に取り組んでいきます。

「砂防出前講座」を開催しています！

砂防災害課

岩手県では、防災教育の一環として、「土砂災害から身を守る」をテーマに、主に県内の小中学生を対象とした「砂防出前講座」を平成30年度から実施しています。

令和7年度は、令和8年1月末現在で、雫石町立雫石中学校はじめ、合計40回の砂防出前講座を開催しました。

◆砂防出前講座の主な内容

- ・講義：「土砂災害の仕組み」や「土砂災害から身を守るために大切なこと」を学習
- ・模型実験：土石流模型実験装置を使い、土石流の再現や砂防堰堤の効果を確認
- ・現場見学：施工中の工事現場等を見学

<砂防出前講座の様子>



土砂災害の仕組みなどについて学習！



模型実験で砂防堰堤の効果を確認！



学校の近くにある砂防堰堤を見学！



土砂災害が発生した際の避難について考えるグループワークを実施！

砂防出前講座の一環として、**関係機関と連携した取組**も行っています。

【北上市主催】総合防災訓練



模型実験で砂防堰堤の効果を確認！



「北上市わが街ガイド」で
土砂災害警戒区域等を確認！

＜令和8年1月末時点での開催状況＞

回数	対象者	回数	対象者	回数	対象者
1	雫石町立雫石中学校	15	二戸市立石切所小学校	29	北上市立和賀東小学校
2	岩手県立沼宮内高校	16	久慈市立山形中学校	30	岩泉町立小川中学校
3	大船渡市立東邦中学校	17	岩泉町立岩泉小学校	31	宮古市立新里中学校
4	釜石市立甲子中学校	18	一関市立川崎中学校	32	奥州市立岩谷堂小学校
5	一関市立千厩小学校	19	滝沢市立鞆飼小学校	33	奥州市立衣川中学校
6	岩泉町立有芸小学校	20	一関市立弥栄小学校	34	岩泉町立小本小学校
7	岩手県立盛岡工業高校	21	遠野市立綾織小学校	35	花巻市立花巻小学校
8	釜石市立大平中学校	22	北上市立更木小学校	36	花巻市立新堀小学校
9	八幡平市立田頭小学校	23	一関市立室根小学校	37	陸前高田市立矢作小学校
10	滝沢市立滝沢東小学校	24	北上市総合防災訓練	38	宮古市立重茂小学校
11	岩手県立釜石高校	25	大槌町立大槌学園	39	岩手県立一関清明支援学校
12	釜石市立釜石東小学校	26	洋野町立林郷小学校	40	宮古市立田老第一小学校
13	釜石市立唐丹中学校	27	遠野市立小友小学校		
14	一関市立巖美小学校	28	大船渡市立日頃市小学校		

今後も、「土砂災害の仕組み」や「土砂災害から身を守るために大切なこと」を、小中学生をはじめ県民の皆様へ広く伝え、正しい知識の習得につなげていきます。

また、行政の発信する避難情報を待つだけでなく、自ら必要な情報を収集し、適切な避難行動を取ることが出来るよう、「砂防出前講座」に積極的に取り組んでいきます。

▼ 岩手県土砂災害警戒情報システム

本システムでは、土砂災害危険度や気象情報（土砂災害警戒情報）等を確認することが出来ます。
スマートフォンなどの端末から箇所毎の情報も確認できます。
自宅やよく行く場所を確認しておくことも大切です。

URL : <https://sabo.pref.iwate.jp/Top>



▼ いわてデジタルマップ「土砂災害に関する規制図」

本サイトでは、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域等を確認することが出来ます。

URL : https://www.sonicweb-asp.jp/iwate/map#theme=th_59



〈問い合わせ先〉
最寄りの広域振興局土木部、
土木センターまで

「住まいの温熱環境測定の実験学習プログラム」の実施について

建築住宅課

岩手県では、「住教育」の一環として、岩手の住まいに欠かせない断熱を取り上げて、身の回りの温熱環境や熱の移動を可視化する授業を通して、岩手の気候に合わせた「住まい」や「住まい方」の理解を深める体験学習を実施しました。

1 「住教育」の必要性

岩手県では、岩手の地域性を反映した「岩手型住宅」の普及を重要な施策と位置付け、「岩手にふさわしい断熱性能の高い住まい」の実現に向けた施策を進めています。

「断熱性能の高い住まい」の普及には、**県民の皆様**の理解が欠かせませんが、断熱性能等の効果効能は伝わりにくいことが課題と感じています。

そのため、「**将来の住まい手・作り手**」となる**子どもたち**への**早期からの住教育の展開**が重要であると考えており、この「住教育」の一環として、岩手県立大学との協働研究により「**住まいの温熱環境測定の実験学習プログラム**」を実施しています。

風土と調和した健やかな暮らし

岩手型住宅

IWATE STYLE HOUSING



県HP

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/kenchiku/kojin/iwatega/ta/index.html>

2 「体験学習プログラム」の実施概要

- (1) テーマ **岩手での冬の暮らしについて住まいの視点で考えてみよう**
- (2) 実施日 令和8年2月9日
- (3) 実施場所 釜石市内の中学校
- (4) 授業対象 中学2年生
- (5) 主な授業内容
 - ① 導入（気象条件の比較から釜石の特徴を理解する）
 - ② 岩手型住宅とは？（岩手の住まいで目指すことを解説）
 - ③ グループワークその1「校舎内の温度を考察してみよう」
 - ・ 事前に測定した温度データを読み取って、熱環境への理解を深める
 - ④ グループワークその2「断熱とは？」
 - ・ 断熱と熱移動の原理を解説
 - ・ ガラスコップと断熱コップを使って、熱移動の差について簡易実験
 - ⑤ まとめ（断熱の効果をみんなで確認）



鳥インフルエンザ防疫措置への対応

～建設業協会の御尽力に感謝～

県土整備企画室

2月下旬に金ケ崎町で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。

一般社団法人岩手県建設業協会をはじめ、市町村や民間企業からの御支援や御協力をいただきながら防疫措置を行ったことにより、感染の拡大防止が図られました。

建設業協会による使命感をもった昼夜を問わない運搬・埋却作業の結果、迅速に防疫措置が完了し、岩手の主要産業である養鶏業を守ることができました。御尽力に感謝いたします。

地域の建設業は、県民の安全・安心な暮らしの「守り手」であることから、今後も建設業の必要性・重要性について、広報活動に取り組んでいきます。

- ▶ 採卵用成鶏の殺処分羽数：約56万羽
- ▶ 2月21日：殺処分を開始 → 3月3日：殺処分鶏等の埋却終了、防疫措置完了
- ▶ 従事いただいた岩手県建設業協会奥州支部：延べ380人



高田松原津波復興祈念公園 追悼の催し 「3.11 から未来へ～みんなの想いが集う日～」の開催について

都市計画課

東日本大震災津波からまもなく15年を迎えます。

3月11日、高田松原津波復興祈念公園において、岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理事務所（(株)長谷川建設）、高田松原津波復興祈念公園国営追悼祈念施設マネジメント共同体（(一社)公園財団、NPO法人緑の相談室）、光ノ碑プロジェクト（大学生有志団体）及び地域の皆様が協力して、犠牲になられた方々への鎮魂と復興の道を歩んできた方への想いをこめて、追悼の催し「3.11から未来へ～みんなの想いが集う日～」が開催されます。

震災を知らない世代が増える中、犠牲者を追悼し、震災の記憶と教訓を未来へ継承する時間を共有し、“一人ひとりの想い”を光として未来へつないでいく特別な行事です。

この機会にぜひ足を運びいただき、光の演出に込められたメッセージとともに、心静かに震災を振り返る時間をお過ごしください。

3.11から未来へ
～みんなの想いが集う日～

令和8年3月11日(水) 点灯時間 17:30～20:00

東日本大震災津波復興祈念公園は、3月11日(水)12:00～19:00まで閉園時間を延長します。
※大観覧により実施内容や時間が変更となる場合がございます。

想いはつながり、未来を照らす

光ノ手紙
国営追悼・祈念施設
水盤付立

光ノ碑
古川沼治い防潮堤

開催場所
高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設
古川沼治い防潮堤(防潮堤に咲く灯の花「光ノ碑」)

本公園は東日本大震災の津波浸水区域です。
利用に先立ち、必ずご自身の位置と
避難経路・避難先をご確認ください。

岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理事務所(株)長谷川建設、高田松原津波復興祈念公園国営追悼祈念施設マネジメント共同体(一社)公園財団、特定非営利活動法人緑の相談室、
光ノ碑プロジェクト(岩手大学三陸復興会)より、岩手大学総務局高田市国際センター、岩手大学総務局高田市国際センター、岩手大学総務局高田市国際センター
国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所、岩手県、陸前高田市

詳細は公園のHP
をご覧ください

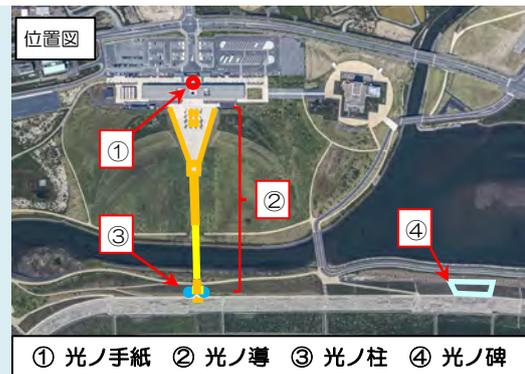


<https://iwate-fukkokinen-park.jp/information/1777>

☆光のプログラム☆

公園内（国営追悼・祈念施設、古川沼付近）で、以下4つの光の演出を行います。

それぞれの光が皆様の想いを象徴し、夜の公園を優しく包みます。



① 光ノ手紙

〈場所：国営追悼・祈念施設内「水盤付近」〉

来場者の想いを“光ノ手紙”として届ける演出です。
今伝えたい想いをメッセージに書いて灯ろうに貼り、希望の「スイセン」を咲かせます。

※ メッセージ記入場所

アバッセたかた、東日本大震災津波伝承館、道の駅高田松原



② 光ノ導（みちしるべ）

〈場所：国営追悼・祈念施設内「切通空間」〉

保育所子ども達をはじめ、さまざまな世代や地域の人々が描いた“紙袋ランタン”が、震災から歩んだ道とこれからの歩みをつなぐ光のラインを優しく照らします。



③ 光ノ柱

〈場所：国営追悼・祈念施設内「海を望む場」〉

鎮魂を象徴する光が天へ伸びあがる演出です。
追悼の心を形として表現し、誰もが立ち止まり、静かに手を合わせたくなる光景が広がります。



④ 光ノ碑（いしぶみ）

〈場所：古川沼沿い防潮堤〉

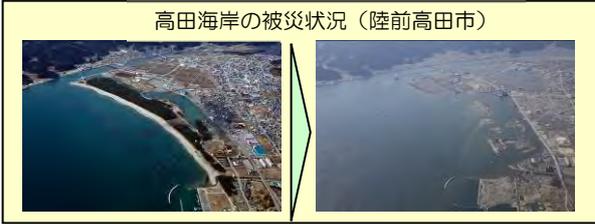
防潮堤に“希望のスイセン”を咲かせる光の演出です。
津波被害を受けた地に再び灯りをともすことで、追悼と未来への希望を象徴します。



● 御来場にあたってのお願い ●

- プログラムは夜間に実施されるため、防寒対策を十分にお願ひします。
- 足元が暗くなる場所がありますので、歩行には御注意ください。
- 混雑時は係員の指示に従ってください。
- 公園は津波浸水区域に該当します。津波注意報が発令された際は、防潮堤より陸側に避難してください。

東日本大震災津波発災から15年 岩手県県土整備部 これまでの取組状況

年月日	平成22年度																																																																												
H23.3.11	<p>14時46分 宮城県沖で地震発生（最大震度7） 14時49分 気象庁が津波警報（大津波）を発表 【沿岸各地に津波来襲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計器で観測した最大波（以降は計器破損のため観測不能） <li style="padding-left: 20px;">宮古 15:26 8.5m以上 <li style="padding-left: 20px;">釜石 15:21 4.2m以上 <li style="padding-left: 20px;">大船渡 15:18 8.0m以上 <p>【県内の被害状況】 （令和8年2月28日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 死者：5,146人 行方不明者：1,106人 家屋倒壊数：26,075棟 ○ 公共土木施設の被害状況 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">単位：百万円</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="2">県</th> <th colspan="2">市町村</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>箇所数</th> <th>金額</th> <th>箇所数</th> <th>金額</th> <th>箇所数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川</td> <td>104</td> <td>93,599</td> <td>57</td> <td>690</td> <td>161</td> <td>94,289</td> </tr> <tr> <td>海岸</td> <td>37</td> <td>69,468</td> <td></td> <td></td> <td>37</td> <td>69,468</td> </tr> <tr> <td>急傾斜</td> <td>16</td> <td>96</td> <td></td> <td></td> <td>16</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>449</td> <td>9,535</td> <td>1,048</td> <td>8,763</td> <td>1,497</td> <td>18,297</td> </tr> <tr> <td>橋梁</td> <td>29</td> <td>1,652</td> <td>61</td> <td>4,101</td> <td>90</td> <td>5,754</td> </tr> <tr> <td>下水道</td> <td></td> <td></td> <td>55</td> <td>13,902</td> <td>55</td> <td>13,902</td> </tr> <tr> <td>公園</td> <td>4</td> <td>232</td> <td>16</td> <td>434</td> <td>20</td> <td>666</td> </tr> <tr> <td>港湾</td> <td>173</td> <td>44,175</td> <td></td> <td></td> <td>173</td> <td>44,175</td> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <td>合計</td> <td>812</td> <td>218,758</td> <td>1,237</td> <td>27,890</td> <td>2,049</td> <td>246,648</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center; font-size: small;">高田海岸の被災状況（陸前高田市）</p> </div>	工種	県		市町村		合計		箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	河川	104	93,599	57	690	161	94,289	海岸	37	69,468			37	69,468	急傾斜	16	96			16	96	道路	449	9,535	1,048	8,763	1,497	18,297	橋梁	29	1,652	61	4,101	90	5,754	下水道			55	13,902	55	13,902	公園	4	232	16	434	20	666	港湾	173	44,175			173	44,175	合計	812	218,758	1,237	27,890	2,049	246,648
工種	県		市町村		合計																																																																								
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額																																																																							
河川	104	93,599	57	690	161	94,289																																																																							
海岸	37	69,468			37	69,468																																																																							
急傾斜	16	96			16	96																																																																							
道路	449	9,535	1,048	8,763	1,497	18,297																																																																							
橋梁	29	1,652	61	4,101	90	5,754																																																																							
下水道			55	13,902	55	13,902																																																																							
公園	4	232	16	434	20	666																																																																							
港湾	173	44,175			173	44,175																																																																							
合計	812	218,758	1,237	27,890	2,049	246,648																																																																							
H23.3.15	啓開作業開始（国と連携し「くしの歯作戦」を実施）																																																																												
H23.3.16	釜石港の航路確保																																																																												
H23.3.17	花巻空港の旅客便の運航再開																																																																												
H23.3.19	宮古港の航路確保																																																																												
H23.3.20	応急仮設住宅の建設開始																																																																												
H23.3.22	久慈港、大船渡港の航路確保																																																																												

年月日	平成23年度
H23.4.9	応急仮設住宅の入居開始
H23.4.22	第1回「岩手県津波防災技術専門委員会」を開催
H23.5.30	公共土木施設の災害査定開始
H23.7.25	港湾関係施設の災害査定開始
H23.8.11	「岩手県東日本大震災津波復興基本計画」、「実施計画（第1期）」策定 応急仮設住宅が全戸完成

年月日	平成23年度	
H23.8.30	国土交通省が三陸沿岸道路、東北横断自動車道の確定ルートとIC位置を公表	 <p>▲写真1</p>  <p>▲写真2</p>
H23.9.26	「岩手県沿岸における海岸堤防高さの設定について」公表	
H23.10.5	「岩手県住宅復興の基本方針」を発表	
H23.10.30	沿岸部の全面通行止区間が全て解除	
H23.11.20	三陸沿岸道路「尾肝要道路（田野畑村）」着工 【写真1】	
H24.2.26	「釜石港湾口防波堤（釜石市）」復旧着工 【写真2】	
H24.3.8	「金浜海岸災害復旧工事（宮古市）」着工	
H24.3.17	「宮古港復旧工事（宮古市）」着工	

年月日	平成24年度	
H24.4.2	全国から派遣された58名の応援職員と新たに採用された51名の職員を加え「復興元年」スタート 【写真3】	 <p>▲写真3</p>
H24.5.29	「集団移転促進事業計画」について県内で初の大臣同意（野田村「米田・南浜地区」、「城内地区」）	
H24.6.14	岩手県内初の災害公営住宅「釜石市平田地区」着工 【写真4】	 <p>▲写真4</p>
H24.6.29	災害復旧工事「久慈浄化センター（久慈市）」が岩手県内初の完成	
H24.7.13	災害公営住宅に関する岩手県・市町村の覚書締結	 <p>▲写真5</p>
H24.7.14	「大船渡港湾口防波堤災害復旧工事（大船渡市）」着工 【写真5】	
H24.7.22	復興支援道路「一般国道340号土淵バイパス（遠野かっぱロード）（遠野市）」一部開通	 <p>▲写真6</p>
H24.8.7	復興支援道路「一般国道284号真滝バイパス（一関市）」開通	
H24.8.24	復興関連道路「一般県道長部漁港線長部地区（陸前高田市）」暫定開通	
H24.8.28	復興支援道路「主要地方道久慈岩泉線龍泉洞地区（岩泉町）」開通	
H24.8.30	三陸沿岸道路「久慈北道路（久慈市）」着工	
H24.9.25	「高田地区海岸災害復旧工事（陸前高田市）」着工	
H24.9.26	岩手県内初の復興土地区画整理事業認可伝達式（陸前高田市） 【写真6】	
H24.9.30	復興関連道路「一般県道侍浜夏井線本波地区（久慈市）」開通	
H24.10.31	「野田浄化センター災害復旧工事（野田村）」完成	
H24.11.4	釜石秋田道路「釜石～釜石西（釜石市）」即年着工	

年月日	平成25年度	
H25.9.1	復興土地区画整理事業「宮古市鎌ヶ崎・光岸地地区整備工事」安全祈願祭	 <p>▲写真11</p>
H25.9.12	三陸沿岸道路「侍浜～階上（久慈市～洋野町）」着工 【写真11】	
H25.9.26	復興支援道路「一般国道397号子飼沢工区（住田町）」開通	 <p>▲写真12</p>
H25.9.30	「陸前高田市高田雨水ポンプ場災害復旧工事」完成	
H25.10.2	「山田町山田地区復興整備事業」安全祈願祭	 <p>▲写真12</p>
H25.10.7	「片岸海岸災害復旧工事（釜石市）」安全祈願祭	
H25.10.13	三陸沿岸道路「普代道路開通（普代村）」 【写真12】	 <p>▲写真13</p>
H25.10.17	災害公営住宅「釜石市野田地区」完成	
H25.10.25	「大船渡市大船渡駅周辺地区震災復興事業」安全祈願祭	 <p>▲写真14</p>
H25.10.31	「野田村城内地区津波復興土地区画整理事業区画整理（1号）・（2号）工事」安全祈願祭	
H25.11.4	「釜石市片岸・鶴住居地区震災復興事業」安全祈願祭	 <p>▲写真15</p>
H25.11.7	三陸沿岸道路「田野畑道路（田野畑村）」着工	
H25.11.13	復興支援道路「一般国道284号室根バイパス（一関市）」安全祈願祭	 <p>▲写真15</p>
H25.11.18	三陸沿岸道路「尾肝要普代道路（田野畑村～普代村）」着工	
H25.11.30	宮古盛岡横断道路「宮古箱石道路（宮古市）」着工 【写真13】	 <p>▲写真15</p>
H25.12.9	「山田町大沢地区震災復興事業」安全祈願祭	
H25.12.15	「釜石市北ブロック復興整備事業設計施工等業務」安全祈願祭	 <p>▲写真15</p>
H25.12.21	「釜石市南ブロック復興整備事業」安全祈願祭 「釜石市中央ブロック復興整備事業設計施工等業務」安全祈願祭	
H25.12.25	復興支援道路「一般国道340号土淵バイパス（遠野かっぱロード）（遠野市）」開通	<p>▲写真15</p>
H25.12.27	「二級河川閉伊川水門（宮古市）」安全祈願祭 【写真14】	
H26.1.14	「大船渡市細浦地区防災集団移転住宅団地」竣工	<p>▲写真15</p>
H26.1.15	災害公営住宅「野田村門前小路第2地区」完成	
H26.1.24	災害公営住宅「釜石市平田地区」完成 【写真15】	<p>▲写真15</p>
H26.2.4	「二級河川大槌川仮締切工事（大槌町）」安全祈願祭	
H26.2.6	復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム開催	<p>▲写真15</p>
H26.2.28	「二級河川甲子川仮締切工事（釜石市）」安全祈願祭	
H26.3.2	三陸沿岸道路「尾肝要道路（田野畑村）」開通	<p>▲写真15</p>
H26.3.23	三陸沿岸道路「高田道路（陸前高田市）」開通	
H26.3.24	「大槌川水門・小槌川水門工事（大槌町）」安全祈願祭	<p>▲写真15</p>
H26.3.25	「鶴住居水門工事（釜石市）」安全祈願祭	
H26.3.28	復興支援道路「一般国道343号大原工区（一関市）」開通	<p>▲写真15</p>
H26.3.31	復興実施計画（第2期）策定 「陸前高田浄化センター災害復旧工事（陸前高田市）」完成 「大町雨水ポンプ場災害復旧工事（大槌町）」完成 「大平下水処理場及び鶴住居雨水ポンプ場（釜石市）」完成	

年月日	平成26年度	
H26.4.1	全国から派遣された84名の応援職員と新たに採用された41名の職員を加え「本格復興推進年」スタート 【写真16】	
H26.5.8	「大野地区海岸災害復旧工事（陸前高田市）」安全祈願祭	▲写真16
H26.5.29	復興支援道路「一般国道281号案内トンネル工事（久慈市）」安全祈願祭	
	「リアスハーバー宮古（宮古市）」竣工 【写真17】	▲写真17
H26.6.10	「二級河川久慈川・夏井川築堤護岸改築工事（久慈市）」安全祈願祭	
H26.6.16	「小白浜地区海岸災害復旧工事（釜石市）」安全祈願祭	▲写真18
H26.6.23	「金浜地区海岸災害復旧工事（宮古市）」安全祈願祭	
H26.6.26	「高田松原津波復興祈念公園基本構想」策定・公表	▲写真19
H26.6.27	災害公営住宅「山田町豊間根地区」完成	
H26.7.31	宮古盛岡横断道路「一般国道106号宮古西道路（松山トンネル）（宮古市）」安全祈願祭	▲写真20
H26.8.1	「宮古港海岸鎌ヶ崎地区防潮堤工事（宮古市）」安全祈願祭	
H26.8.6	「宮古港海岸藤原地区防潮堤工事（宮古市）」安全祈願祭	▲写真21
H26.8.12	復興支援道路「一般国道340号立丸峠工区（宮古市・遠野市）」着工 【写真18】	
H26.8.24	宮古盛岡横断道路「平津戸松草道路・区界道路（宮古市・盛岡市）」着工 ～震災後事業化した岩手県内の復興道路が全て着工～	▲写真20
H26.8.28	復興関連道路「主要地方道大船渡綾里三陸線小石浜トンネル工事（大船渡市）」安全祈願祭 【写真19】	
H26.8.30	復興支援道路「一般国道342号花泉バイパス（一関市）」開通	▲写真21
H26.10.26	復興支援道路「一般国道397号津付道路（住田町）」開通	
H26.11.20	「二級河川田代川河川災害復旧水門土木工事（宮古市）」安全祈願祭 【写真20】	▲写真21
H26.12.19	災害公営住宅「陸前高田市西下地区」完成	
H27.1.15	復興県土づくりシンポジウム開催	▲写真21
H27.1.26	災害公営住宅「大船渡市下欠地区」完成	
H27.1.22	「米田地区海岸災害復旧工事（野田村）」安全祈願祭	
H27.2.10	災害公営住宅「大船渡市綾里地区」完成	
H27.2.25	災害公営住宅「宮古市佐原地区」完成	
H27.3.6	災害公営住宅「陸前高田市柳沢前地区」完成	
H27.3.3	「片岸地区海岸災害復旧工事（本堤分）（釜石市）」安全祈願祭	
H27.3.20	災害公営住宅「大船渡市長谷堂地区」完成	
H27.3.25	災害公営住宅「宮古市宮町地区」完成	
H27.3.26	宮古盛岡横断道路「宮古西道路（松山トンネル）（宮古市）」完成 【写真21】	
H27.3.31	災害公営住宅「宮古市磯鶏地区」完成	

年月日	平成27年度	
H27.4.1	全国から派遣された84名の応援職員と新たに採用された41名の職員を加え「本格復興邁進年」スタート 【写真22】	
H27.4.21	道の駅「釜石仙人峠」オープン	
H27.7.27	復興支援道路「一般国道340号立丸峠工区（仮称 ^{※2} ）小峠トンネル（宮古市）」貫通	
H27.8.19	復興支援道路「一般国道281号案内トンネル（久慈市）」貫通	
H27.9.16	まちづくり連携道路「一般県道吉里吉里釜石線（釜石市）」室浜トンネル貫通 【写真23】	
H27.9.17	FDA名古屋線搭乗者40万人達成	
H27.9.30	復興支援道路「一般国道340号立丸峠工区（仮称 ^{※2} ）大峠トンネル築造工事（宮古市・遠野市）」安全祈願祭	
H27.11.19	復興支援道路「一般県道397号（仮称）新小谷木橋下部工工事（奥州市）」安全祈願祭	
H27.11.22	田老まちびらき記念式開催	
H27.11.29	三陸沿岸道路「吉浜道路（大船渡市）」開通 【写真24】	
H27.12.5	東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～宮守（遠野市）」開通	
H27.12.8	震災以降放置状態だった大船渡港のロシア船を撤去	
H28.1.21	復興県土づくりシンポジウム開催 【写真25】	
H28.1.7	復興関連道路「主要地方道重茂半島線（宮古市・山田町）」安全祈願祭・着工	
H28.1.19	被災3県（岩手、宮城、福島）土木部長による国土交通省・復興庁への合同要望	
H28.1.7	道の駅「たろう」（宮古市）が「重点道の駅」に選定	
H28.3.24	水海海岸水門復旧工事（釜石市）完成 【写真26】	
H28.3.7	宮古・室蘭間のフェリー定期航路開設決定	
H28.3.12	復興道路「宮古盛岡横断道路 都南川目道路（川目～田の沢）（盛岡市）」開通	
H28.3.12	末広町まちびらき式（大槌町）開催	
H28.3.13	大船渡駅周辺地区第1期まちびらき（大船渡市）開催 【写真27】	
H28.3.29	第2回高田松原津波復興祈念公園有識者委員会を開催し 国営追悼・祈念施設（仮称）の基本設計案等を報告	
<p>※1 災害公営住宅については、整備が本格化し完成箇所が増加したため、本表からは省略しています</p> <p>※2 「（仮称）大峠トンネル」は「立丸第一トンネル」、「（仮称）小峠トンネル」は「立丸第二トンネル」に名称決定しました</p>		
		
		▲写真22
		
		▲写真23
		
		▲写真24
		
		▲写真25
		
		▲写真26
		
		▲写真27

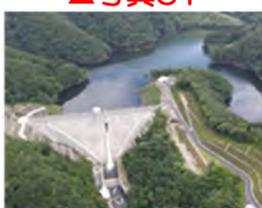
年月日	平成28年度	
H28.4.1	全国18都府県市及び民間企業から77名の派遣応援職員が県土整備部に加わる 【写真28】	
H28.6.7	東日本大震災からの復興と地方創生の推進に当たっての国へ提言・要望活動を実施	▲写真28
H28.6.8	復興道路、宮古盛岡横断道路「区界道路」、平成32年度開通予定と発表	
H28.6.9	「宮古港フェリー利用促進協議会」設立	▲写真29
H28.6.13	「第6回復興道路会議～岩手県～」開催	
H28.6.15	高田松原津波復興祈念公園をより良い公園とするための市民協働ワークショップ開催 【写真29】	▲写真30
H28.7.2	「一般県道大槌小釜線（大槌町）」開通 【写真30】	
H28.7.9	「いわて復興住宅祭in陸前高田」開催	▲写真31
H28.7.11	「山田町（仮称）大沢トンネル築造工事」安全祈願祭開催	
H28.8.1	釜石港で「国際フィーダーコンテナ定期航路開設5周年記念式典」開催	▲写真32
H28.8.6	高田松原地区の防潮堤の復旧、砂浜の再生、気仙川水門の整備等の現場見学会開催 【写真31】	▲写真33
H28.10.1	「第71回国民体育大会いわて国体」開催	
H28.10.22	「第16回全国障害者スポーツ大会いわて大会」開催	▲写真34
H28.10.28	高田地区海岸の防潮堤災害復旧工事へ協力を得てきた方々への感謝する会を開催	
H28.10.28	復興道路等の新たな開通見通し発表、岩手県内約9割の開通見通しが明らかに	▲写真34
H28.11.29	一般財団法人岩手経済研究所が「復興道路の整備効果 岩手県で年間540億円」と試算を発表	
H28.12.11	復興支援道路「一般国道340号立丸峠小峠工区（宮古市）」開通	
H28.12.23	復興関連道路「宮古市道北部環状線（山口－佐原間）」開通	
H28.12.15	「高田海岸防潮堤」概成 【写真32】	
H29.1.10	復興関連道路「主要地方道重茂半島線（仮称）大沢トンネル（山田町）」貫通 【写真33】	
H29.1.20	岩手県の復興の取組について情報発信する「いわて三陸復興フォーラム」開催	
H29.2.3	災害公営住宅「釜石市片岸アパート」完成	
H29.3.5	「高田松原津波復興祈念公園」被災3県で初の着工	
H29.3.19	「大船渡港湾口防波堤」完成	
H29.3.25	復興関連道路「主要地方道大船渡綾里三陸線小石浜地区（大船渡市）」開通	
H29.3.31	災害公営住宅「釜石市松原アパート」完成 【写真34】	

年月日	平成29年度	
H29.4.1	全国から派遣された63名の応援職員と新たに採用された50名の職員が県土整備部に加わる 【写真35】	
H29.4.27	「水門・陸閘自動閉鎖システム」の試験運用を合足農地海岸（大船渡市）にて開始 【写真36】	
H29.6.11	野田村土地区画整理事業・都市公園事業竣工	<p>▲写真35</p>
H29.7.13	東日本大震災津波からの復旧・復興に向け、国交省及び復興庁に対する被災3県部長による合同要望を実施	
H29.7.31	「水門・陸閘自動閉鎖システム」を神林海岸、高浜海岸（宮古市）、合足農地海岸（大船渡市）において運用開始	<p>▲写真36</p>
H29.8.3	釜石港ガントリークレーン贈呈式開催 【写真37】	
H29.9.1	復興支援道路「一般国道340号立丸第一トンネル（宮古市・遠野市）」貫通	<p>▲写真37</p>
H29.9.23	釜石港でガントリークレーンの供用を開始	
H29.9.30	大船渡市越喜来地区海岸の防潮堤災害復旧工事完了 【写真38】	<p>▲写真38</p>
H29.10.25	閉伊川水門・鍬ヶ崎防潮堤（宮古市）現場見学会開催	
H29.10.28	宮古市「鍬ヶ崎・光岸地まちびらき記念式」開催	<p>▲写真39</p>
H29.11.19	三陸沿岸道路「山田宮古道路」、一般県道宮古山田線「豊間根工区（山田町）」同時開通 【写真39】	
H29.11.19	復興支援道路「一般国道281号案内工区（久慈市）」開通	<p>▲写真40</p>
H29.12.25	復興関連道路「一般県道吉里吉里釜石線室浜の2工区（釜石市）」開通	
H29.12.27	復興支援道路「一般国道397号高屋敷工区（住田町）」開通	
H30.1.25	震災復興の成果共有と土木技術職員の技術力の研鑽を図る「平成29年度復興県土づくりシンポジウム」開催	
H30.2.28	内陸部の災害公営住宅第1号「盛岡市備後第1アパート8号棟」完成 【写真40】	
H30.3.21	三陸沿岸道路「田老真崎海岸 I C～岩泉龍泉洞 I C」開通	
H30.3.27	釜石港湾口防波堤完成	

年月日	平成30年度	
H30.4.2	全国から派遣された44名の応援職員と新たに採用された51名の職員が県土整備部に加わる 【写真41】	
H30.4.21	復興支援道路「一般国道284号室根バイパス（一関市）」開通	▲写真41
H30.4.28	大船渡駅周辺地区第3期まちびらき（大船渡市）開催（大船渡地区津波復興拠点整備事業）	
H30.4.30	釜石港湾港防波堤完成式開催 【写真42】	
H30.6.22	岩手県初のフェリー定期航路となる宮古・室蘭フェリーが就航 【写真43】	▲写真42
H30.7.28	三陸沿岸道路「唐桑高田道路（陸前高田長部IC～陸前高田IC）」開通	
H30.8.1	いわて花巻-台北 国際定期便就航	▲写真43
H30.8.11	三陸沿岸道路「吉浜釜石道路（吉浜IC～釜石南IC）」開通 【写真44】	
H30.9.19	まちづくり連携道路「一般県道安家玉川線下安家工区（野田村）」完成	▲写真44
H30.9.30	陸前高田市まちびらき記念式典開催（高田南地区津波復興拠点整備事業）	
H30.10.25	災害公営住宅「盛岡市備後第1アパート9・10号棟」完成	▲写真45
H30.11.29	復興支援道路「一般国道340号立丸峠工区（宮古市・遠野市）」全線開通	
H30.12.17	復興支援道路「一般国道397号（仮称）小谷木橋工区（奥州市）」上部工工事安全祈願祭開催	▲写真46
H30.12.25	復興関連道路「主要地方道野田山形線野田工区（野田村）」開通	
H31.1.12	三陸沿岸道路「釜石山田道路（大槌IC～山田南IC）」開通	
H31.1.19	岩手の未来を切り拓く復興道路シンポジウム開催 【写真45】	
H31.1.24	復興県土づくりシンポジウム（第45回土木技術発表会）開催	
H31.1.30	いわて花巻-上海 国際定期便就航	
H31.3.3	東北横断自動車道釜石秋田線「遠野道路（遠野住田IC～遠野IC）」開通	
H31.3.9	三陸沿岸道路「釜石南IC～釜石両石IC」開通 東北横断自動車道釜石秋田線「釜石道路（釜石JCT～釜石仙人峠IC）」開通 【写真46】	
H31.3.15	災害公営住宅「奥州市桜屋敷アパート」完成	
H31.3.16	「主要地方道重茂半島線、一般県道津軽石停車場線熊の平～津軽石工区（宮古市）」開通	
H31.3.21	三陸沿岸道路「唐桑高田道路（唐桑小原木IC～陸前高田長部IC）」開通	
H31.3.22	災害公営住宅「大槌町上町アパート」完成	
H31.3.28	復興支援道路「一般国道107号梁川～口内工区（奥州市）」開通	
H31.3.30	宮古盛岡横断道路「宮古西道路（宮古中央IC～宮古根市IC）」開通	

年月日	令和元年度	
H31.4.1	全国から派遣された25名の応援職員と新たに採用された40名の職員が県土整備部に加わる 【写真47】	 <p style="text-align: center;">▲写真47</p>
H31.4.25	岩手県内初の10万トン超級クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港 【写真48】	 <p style="text-align: center;">▲写真48</p>
H31.4.27	大船渡駅周辺地区土地区画整理事業竣工式開催	
R1.6.1～	三陸防災復興プロジェクト2019開催	
R1.6.22	三陸沿岸道路「釜石山田道路（釜石北ⅠC～大槌ⅠC）」開通 【写真49】	 <p style="text-align: center;">▲写真49</p>
R1.6.22	宮古・室蘭フェリー就航1周年	
R1.8.12	災害公営住宅「構井田アパート（一関市）」完成	
R1.9.3	築川ダム（盛岡市）堤体コンクリート打設完了	
R1.9.10	復興支援道路「一般国道340号長興寺工区（九戸村）」開通	
R1.9.22	高田松原津波復興祈念公園オープン式典開催 【写真50】	 <p style="text-align: center;">▲写真50</p>
R1.9.25	ラグビーワールドカップ2019™フィジーvs.ウルグアイ 釜石鶴住居復興スタジアムで開催	
R1.9.27	片岸海岸災害復旧事業（釜石市）完了 【写真51】	 <p style="text-align: center;">▲写真51</p>
R1.10.12	令和元年台風第19号により甚大な被害を受ける	
R1.11.1	岩手県道路整備促進中央大会～希望郷いわてを支える道づくりに向けて～開催	
R1.11.15	災害公営住宅「北上市黒沢尻アパート」完成	
R1.12.8	宮古盛岡横断道路「都南川目道路（田の沢ⅠC～手代森ⅠC）」開通	
R2.3.1	三陸沿岸道路「久慈北ⅠC～待浜ⅠC」開通	
R2.3.21	国道4号「水沢東バイパス」部分開通	
R2.3.26	主要地方道花巻北上線「島バイパス（花巻市）」開通	
R2.3.30	宮古盛岡横断道路「宮古～箱石間 下川井地区（宮古市）」開通	

年月日	令和2年度	
R2.4.1	全国から派遣された18名の応援職員と新たに採用された40名の職員が県土整備部に加わる 【写真52】 流域下水道事業公営企業会計へ移行	
R2.4.3	復興支援道路「一般国道281号下川井トンネル（久慈市）」貫通 【写真53】	
R2.4.18	復興支援道路「一般国道343号渋民トンネル（一関市）」貫通	<p style="text-align: center;">▲写真52</p>
R2.7.12	三陸沿岸道路「宮古田老道路（宮古中央JCT～田老真崎海岸IC）」開通 宮古盛岡横断道路「宮古港IC～宮古中央IC」開通	
R2.8.1	大船渡港野々田緑地サン・アンドレス公園開園 【写真54】	<p style="text-align: center;">▲写真53</p>
R2.8.7	まちづくり連携道路「主要地方道大船渡広田陸前高田線 広田半島4工区（陸前高田市）」開通	
R2.10.2	築川ダム（盛岡市）試験湛水を開始	<p style="text-align: center;">▲写真54</p>
R2.11.5	災害公営住宅「大槌町赤浜①団地」完成 ～ 沿岸部の災害公営住宅全5,550戸完成 ～	
R2.11.6	復興関連道路「主要地方道重茂半島線石浜工区（宮古市）」供用開始	<p style="text-align: center;">▲写真55</p>
R2.12.5	宮古盛岡横断道路「区界道路」築川～区界開通	
R2.12.12	三陸沿岸道路「洋野階上道路（洋野種市IC～階上IC）」開通	<p style="text-align: center;">▲写真55</p>
R2.12.13	復興支援道路「一般国道340号押角峠工区（岩泉町）」開通 【写真55】	
R2.12.19	三陸沿岸道路「尾肝要普代道路（田野畑北IC～普代）」開通	
R2.12.22	復興支援道路「一般国道281号大坊の2工区（岩手町）」開通 復興関連道路「一般県道明戸八木線小田の沢工区（洋野町）」開通	<p style="text-align: center;">▲写真56</p>
R3.1.23	まちづくり連携道路「主要地方道重茂半島線」完工式	
R3.1.24	復興支援道路「一般国道284号石法華工区（一関市）」開通	<p style="text-align: center;">▲写真57</p>
R3.2.11	災害公営住宅「盛岡市南青山アパート」完成式 ～ 岩手県内の災害公営住宅全戸完成 ～ 【写真56】	
R3.3.13	復興支援道路「一般国道342号白崖工区（一関市）」開通	
R3.3.20	三陸沿岸道路「洋野～階上道路（侍浜IC～洋野種市IC）」開通	<p style="text-align: center;">▲写真58</p>
R3.3.28	宮古盛岡横断道路全線開通 【写真57】	
R3.3.28	復興支援道路「一般国道343号渋民バイパス（一関市）」開通 【写真58】	
R3.3.31	まちづくり連携道路「主要地方道岩泉平井賀普代線島越工区（田野畑村）」開通	

年月日	令和3年度	
R3.4.1	全国から派遣された5名の応援職員と新たに採用された28名の職員が県土整備部に加わる 【写真59】	
R3.4.1	高田松原津波復興祈念公園及び高田海岸供用開始 【写真60】	▲写真59
R3.4.11	大船渡港に国内クルーズ船「飛鳥II」寄港	
R3.4.22	宮古港に国内クルーズ船「にっぽん丸」寄港	▲写真60
R3.5.31	復興支援道路「一般国道397号新小谷木橋（奥州市）」開通 【写真61】	
R3.7.10	三陸沿岸道路「田野畑道路（田野畑南～尾肝要）」開通	▲写真61
R3.7.17	高田松原海水浴場が11年ぶりに海開き	
R3.7.18	築川ダム竣工式 【写真62】	▲写真62
R3.7.23～	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（無観客）	
R3.7.27	一戸町の御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録	▲写真63
R3.11.18	まちづくり連携道路「一般県道碓石海岸線末崎～碓石工区（大船渡市）」開通	
R4.11.20	宮古港に国内クルーズ船「にっぽん丸」寄港	▲写真64
R3.11.28	「一般県道ゆだ錦秋湖停車場線岩滑橋工区（西和賀町）」開通	
R3.11.29	まちづくり連携道路「一般国道340号今泉大橋（陸前高田市）」開通 【写真63】	▲写真63
R3.12.4	平泉スマートIC（平泉町）開通	▲写真64
R3.12.18	三陸沿岸道路全線開通 【写真64】	
R3.12.22	まちづくり連携道路「主要地方道大船渡広田陸前高田船河原工区（大船渡市）」開通	▲写真63
R3.12.26	高田松原津波復興祈念公園全面供用	▲写真64
R3.12.28	跡浜地区海岸防潮堤（大船渡市）完成	
R4.1.16	トンガ諸島付近の海底火山噴火に伴う津波注意報・警報が発表され、「水門・陸閘自動閉鎖システム」が運用後初めて稼働（運用中全165箇所閉鎖）	▲写真64
R4.2.5	復興支援道路「一般国道281号下川井工区（久慈市）」開通	
R4.3.25	復興支援道路「一般国道340号葉山～恵蘇工区（住田町）」全線開通	
R4.3.29	最大クラスの津波を対象とした津波浸水想定を公表 復興支援道路「一般国道342号白崖工区（一関市）」全線開通	
R4.3.30	大船渡港に国内クルーズ船「にっぽん丸」寄港	

令和4年度		
R4.4.1	宮古港出崎地区「しおかぜ公園」(宮古市) オープン	
R4.5.20	大船渡港清水地区防潮堤(大船渡市) 完成	
R4.6.30	まちづくり連携道路「主要地方道大船渡綾里三陸線赤崎工区(大船渡市)」完成	
R4.7.28	復興関連道路「一般県道丸森権現堂線下船渡工区」(大船渡市) 開通 ～ 岩手県の三陸復興道路整備事業全開通 ～ 【写真66】	
R4.8.5	大船渡港茶屋前地区防潮堤(大船渡市) 完成	
R4.8.22	宮古港・久慈港に国内クルーズ船「にっぽん丸」寄港	
R4.8.27	「いわて復興道路フェスタ～岩手がもっと、近くなる!～」開催 【写真67】	
R4.12.20	「第1回東北ブロックインフラメンテナンス市区町村長会議」(宮古市)	
R5.3.29	大船渡港永浜地区防潮堤(大船渡市) 概成	
R5.3.31	永浜3号陸閘(大船渡市) 運用開始 【写真68】	

令和5年度		
R5.4.15	「水門・防潮堤カード」の配布開始 【写真69】	
R5.4.22	宮古港に外国船社クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港	
R5.5.28	「東北震災復興のみらいを語る懇談会」(福島市)	
R5.6.4	「第73回全国植樹祭いわて2023」	
R5.8.4	宮古港に外国クルーズ船「MSCベリッシマ」寄港 【写真70】	
R5.8.29	沿岸12市町村を対象に津波災害警戒区域を指定	
R5.10.4	「一般国道282号一本木工区(滝沢市)」開通	
R5.12.2	宮古盛岡横断道路「田鎖墓目道路(宮古市)」着工	
R5.12.15	「普金地区防潮堤陸閘(大船渡市)」運用開始 【写真71】	
R5.12.20	「主要地方道一関北上線谷地工区(奥州市)」開通	
R5.12.25	「都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋(二戸市)」開通	
R6.1.1	令和6年能登半島地震発生。岩手県からも応援職員を派遣	
R6.3.20	「東北縦貫自動車道弘前線花巻PAスマートインターチェンジ(花巻市)」開通	
R6.3.23	「一般県道大ヶ生徳田線徳田橋(盛岡市～矢巾町)」開通	

令和6年度	
R6.8.4 R6.9.17 R6.11.9	「主要地方道花巻大曲線小倉山の2工区（西和賀町）」開通 「主要地方道釜石遠野線笛吹峠工区（遠野市）」開通 「東北震災復興のみらいを語る懇談会」（仙台市） 【写真72】
R6.12.5 R6.12.25 R7.2.5 R7.2.26	「一般国道396号内楽木峠工区（遠野市）」開通 「一般県道普代小屋瀬線上普代工区（普代村）」開通 「一般国道455号乙茂工区（岩泉町）」開通 大船渡市で大規模林野火災が発生 【写真73】



▲写真72



▲写真73

令和7年度	
R7.7.30 R7.10.27 R7.11.1	カムチャッカ半島付近を震源とする地震に伴い津波注意報・警報が発表され、「水門・陸閘自動閉鎖システム」が稼働（運用中全225箇所閉鎖） 【写真74】 津波・高潮防災施設の適正管理に要する財政措置の拡充について、国交省に対する被災3県による合同要望を実施 「平成28年台風第10号災害からの復旧・復興記念式典」開催
R7.11.30 R7.12.8 R7.12.9 R8.2.7 R8.3.11	「一般国道107号大石地区（西和賀町）」開通 【写真75】 青森県東方沖を震源とする地震に伴い津波注意報・警報が発表され、「水門・陸閘自動閉鎖システム」が稼働（運用中全223箇所閉鎖） 北海道・三陸沖後発地震注意情報発表 「東北震災復興のみらいを語る懇談会」（盛岡市） 東日本大震災津波から15年



▲写真74



▲写真75

総合土木 令和8年度 建築 岩手県職員採用試験が変わる

① 大学3年生の秋から受験可能に！

令和8年度 I種試験のイメージ		春	夏	秋
試験型 (主な受験 対象)	アピール試験型春試験 (21歳以上45歳未満) <small>※旧アピール試験型先行実施枠。実施時期変更なし</small>		専門試験型 (21歳以上35歳未満)	アピール試験型秋試験 (21歳以上45歳未満) 大学3年生 <small>※旧アピール試験型通常枠。実施時期を夏から変更</small>
受験案内 公開予定	令和8年2月上旬頃		令和8年4月上旬頃	令和8年8月頃
1次試験	4月頃		6月頃	10月頃



I種試験は併願OK！
 大学3年生からの場合、**在学中に最大4回チャレンジ可能！**
 ①3年秋：アピール型【秋】 ②4年春：アピール型【春】
 ③4年夏：専門試験型 ④4年秋：アピール型【秋】

② 論文・作文試験を廃止に！

I種 専門試験型				III種			
令和7年度		令和8年度		令和7年度		令和8年度	
1次	教養試験	教養試験	1次	教養試験	教養試験	1次	教養試験
	専門試験	専門試験		専門試験	専門試験		専門試験
2次	論文試験	ヒアリングシート <small>※配点なし 第2次試験の面接の参考</small>	2次	作文試験	(廃止)	2次	適性検査
	個別面接 適性検査	個別面接		個別面接 適性検査	個別面接		

③ 最終合格者発表を前倒し！

○ 試験の見直しにより 最終合格者発表を早めます	最終合格者発表時期	
	I種 専門試験型	《令和7年度》 8月上旬
III種	11月下旬	▶ 11月上旬